

## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月9日

上場取引所 大

上場会社名 ユニバーサルソリューションシステムズ株式会社  
 コード番号 3390 URL <http://www.u-s-systems.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 青木 毅  
 (氏名) 小倉 哲雄

TEL 03-6690-9815

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,155	17.4	△238	—	△237	—	△253	—
23年3月期第1四半期	984	—	79	—	79	—	3	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △260百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 3百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△662.40	—
23年3月期第1四半期	9.82	9.79

(注) 連結経営成績につきましては、平成22年3月期第3四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、平成23年3月期の対前期増減率については、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,391	—	928	—	—	35.4
23年3月期	2,746	—	1,189	—	—	40.1

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 847百万円 23年3月期 1,101百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,200	12.8	△200	—	△200	—	△220	—	△573.87
通期	5,500	21.5	200	155.9	200	191.1	150	—	391.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	383,361 株	23年3月期	383,361 株
----------	-----------	--------	-----------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	— 株	23年3月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	383,361 株	23年3月期1Q	342,624 株
----------	-----------	----------	-----------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成23年5月16日に発表しました連結業績予想に変更はありません。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる結果になる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気に緩やかな回復の兆しがみられたものの、当年3月11日に発生いたしました東日本大震災及び原子力発電所事故の影響により、生産や輸出の大幅な減少、震災後の自粛ムードによる消費の低迷が懸念されるなど、景気回復の動きが鈍化する中で推移いたしました。先行きについても、電力供給の制約や原子力発電所事故による風評被害等の影響により、景気の本格回復には依然として不透明な状況が続いております。

情報サービス業界・人材サービス業界におきましても、景気の不透明感がぬぐえない状況下では、不要不急の投資を抑制する傾向がしばらく続くものと見込まれます。一方で、携帯電話・モバイル関連領域においては、スマートフォン・スマートパッドの急速な普及により、ユーザーニーズが新たに創出され、事業機会の拡大がいよいよ本格化しつつあります。

このような情勢の下、当社グループは、スマートフォン・スマートパッド関連事業を事業の柱としてとらえ、飲食業界向けのスマートパッドサービスの開発、教育支援Eラーニングシステム「F-PLAT」のコンテンツ強化、スマートフォン・スマートパッド向けの遠隔サポート事業など、今後の事業拡大のために積極的な先行投資を行っております。

売上高につきましては、システム事業セグメントは、飲食事業者向けソリューションにおいて、既存顧客との取引が堅調に推移し、さらにスマートパッドを利用した新サービスの提供を開始しております。教育人材事業セグメントは、Eラーニングシステム「F-PLAT」を活用した教育研修事業の積極的展開を実施しております。コールセンター事業セグメントは、スマートフォン・スマートパッドの遠隔サポート事業をスタートし事業拡大を行っております。直販事業セグメントは、スマートフォン・スマートパッドを中心とした携帯端末の販売を強化し、売上は拡大傾向にあります。

収益面につきましては、新規事業の展開による体制強化、スマートフォン・スマートパッドサポート事業を中心とした今後の事業拡大のための積極的な投資を行った結果、販売費及び一般管理費が増加することとなりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、当社グループの組織改編により、新しい事業本部に基づいたセグメント区分の見直しを行っております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,155,672千円（前年同四半期比17.4%増）となりましたが、利益面につきましては、営業損失238,856千円（前年同四半期は営業利益79,232千円）、経常損失237,618千円（前年同四半期は経常利益79,591千円）、四半期純損失253,937千円（前年同四半期は四半期純利益3,363千円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

- ① システム事業は、売上高364,601千円となり、セグメント利益16,867千円となりました。
- ② 教育人材事業は、売上高331,945千円となり、セグメント損失93,818千円となりました。
- ③ コールセンター事業は、売上高220,713千円となり、セグメント利益9,881千円となりました。
- ④ 直販事業は、売上高238,411千円となり、セグメント損失36,161千円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて390,590千円減少し、1,327,878千円となりました。これは主に現金及び預金が214,807千円、売掛金が245,677千円減少したことなどによります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて37,317千円増加し、1,058,519千円となりました。これは主に投資有価証券が61,776千円増加したことなどによります。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて354,162千円減少し、2,391,900千円となりました。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて224,817千円減少し、1,005,981千円となりました。これは主に買掛金が57,283千円、短期借入金が160,000千円、未払法人税等が84,329千円減少したことなどによります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて132,405千円増加し、457,795千円となりました。これは主に長期借入金が149,099千円増加したことなどによります。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて92,411千円減少し、1,463,777千円となりました。

## (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて261,751千円減少し、928,123千円となりました。これは主に四半期純損失253,937千円を計上したことなどによります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の受注動向及び売上高等、業績予測に必要となる諸前提及び継続的に取組んでいる施策効果については精査中であり、現時点では平成23年5月16日に発表（「平成23年3月期 決算短信」に記載）した業績予想から変更はありません。

なお、業績予想を見直す必要が生じた場合には、速やかに開示する予定です。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## (会計方針の変更)

当第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の金額は、9円75銭であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	767,332	552,524
売掛金	746,997	501,319
たな卸資産	62,784	51,783
その他	173,998	237,937
貸倒引当金	△32,643	△15,686
流動資産合計	1,718,468	1,327,878
固定資産		
有形固定資産	57,185	63,829
無形固定資産		
のれん	508,911	478,415
その他	128,937	146,837
無形固定資産合計	637,849	625,252
投資その他の資産		
投資有価証券	220,285	282,061
その他	129,517	111,843
貸倒引当金	△23,636	△24,468
投資その他の資産	326,166	369,436
固定資産合計	1,021,202	1,058,519
繰延資産	6,392	5,503
資産合計	2,746,063	2,391,900
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	188,202	130,919
短期借入金	240,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	104,249	173,916
未払金	370,476	510,516
未払法人税等	88,185	3,856
賞与引当金	9,417	17,724
その他	230,267	89,048
流動負債合計	1,230,799	1,005,981
固定負債		
長期借入金	284,244	433,343
その他	41,145	24,452
固定負債合計	325,389	457,795
負債合計	1,556,188	1,463,777

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,454,497	1,454,497
資本剰余金	1,813,347	1,813,347
利益剰余金	△2,164,771	△2,418,708
株主資本合計	1,103,073	849,135
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,549	△1,624
その他の包括利益累計額合計	△1,549	△1,624
新株予約権	10,693	12,697
少数株主持分	77,658	67,914
純資産合計	1,189,874	928,123
負債純資産合計	2,746,063	2,391,900

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	984,210	1,155,672
売上原価	569,664	986,218
売上総利益	414,546	169,453
販売費及び一般管理費	335,313	408,310
営業利益又は営業損失(△)	79,232	△238,856
営業外収益		
受取利息	1	788
持分法による投資利益	—	4,971
その他	1,542	872
営業外収益合計	1,543	6,632
営業外費用		
支払利息	492	3,410
その他	692	1,984
営業外費用合計	1,185	5,394
経常利益又は経常損失(△)	79,591	△237,618
特別利益		
貸倒引当金戻入額	5,229	—
特別利益合計	5,229	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,645	—
固定資産除却損	—	10,215
委託契約解約損	—	4,903
特別損失合計	1,645	15,118
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	83,175	△252,737
法人税、住民税及び事業税	85,132	1,793
法人税等調整額	△5,319	6,188
法人税等合計	79,812	7,981
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	3,363	△260,719
少数株主損失(△)	—	△6,781
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,363	△253,937

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	3,363	△260,719
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△74
その他の包括利益合計	—	△74
四半期包括利益	3,363	△260,794
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,363	△254,012
少数株主に係る四半期包括利益	—	△6,781

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

該当事項はありません。